

山弓連

平成26年11月
(平成26年度第5号)

おめでとう 上條剛央(四段)優勝!

第55回 関東地域弓道選抜選手権大会

9月14日ぐんま武道館弓道場において標記の大会が開催された。山弓連からは有段者の部へ上條剛央、河西映里、渡邊幸太、山下弘行、中澤国弘、称号者の部へ綿奈部博史、若杉年久、標輝人、高埜よしみ、古屋浩元の各氏が参加。東京都3地区の他、7県から兩種別に5名ずつ総勢50名の選手達が、一手3回の射数で技を競った。競技は最初の一手が採点制で、後の二手は的中制、計6射の成績順に大会賞、射技優秀賞(4中以上の各種別最高得点者)、全日本弓道連盟特別賞(各種別一位)、全日本弓道連盟賞(各種別二位から五位)、優秀地連賞(最多的中地連)が贈られた。

有段者の部で上條剛央(上野原)を含む5名が射詰め競射を行い、1回目で上條と群馬県の前田 彩が的中、2回目で上條が的中し前田が不中で上條の優勝大会賞と全日本弓道連盟特別賞)が決定した。得点制では中澤国弘が689点を得て藤岡智則(東京第2)の最高691点と、その差2点で2位につけた。

称号者の部の最高得点 群馬県の小池千友の742点で、鎌六の若杉年久(笛吹)が山弓連トップの718点を得たが称号者全体の10位タイに留まった。わが山弓連の選手達は皆よく健闘した。もう一息、僅かもう一本が惜しまれた。

弓の難しさは誰もが経験しているように、1時間前まで好調であっても突然不調に陥り的中を逸することがある。僅か30分や1時間で射術が下手になることはあり得ないし、身体の異変も無いとしたら、持てる技を十分に発揮出来ない状況に陥らせるものは心気の影響しか他に無い。教本にも示されている通り身体・心気・弓技それぞれの安定が合一して一体となること、いわゆる三位一体が弓射の鍵となる。礼記 - 射義の遺訓、吉見順正(射法訓)の遺訓をいつも思いおこして弓技のみに拘泥せず、身体も気も鍛え三位一体の実現に努めたいものです。

(天野 裕)

第12回 浅利与一弓道大会 結果表

個人の部

順位	氏名	的中数	チーム名
優勝	豊田 浩正	8中	甲府市Cチーム
2位	鮫島 誠一	7中	甲府市Dチーム
3位	山口 明男	6中	上野原市チーム
4位	市川 明	6中	笛吹市チーム
5位	秋山 有佳	6中	南アルプス市チーム

チーム(団体)の部

順位	チーム名	的中数	メンバー
優勝	山梨大学医学部 Bチーム	15中	内田 光紀
			浅井 真太郎
			田中 まり
2位	甲府市Cチーム	14中 (競射)	高橋 恭平
			深沢 雄一
			豊田 浩正
3位	南アルプス市チ ーム	14中 (競射)	和田 満貴
			秋山 有佳
			梶原 久美子

浅利与一弓道大会 報告 (渡辺純子)

台風18号の影響で朝から激しく雨が降り、参加申し込みのあった当初の予定人数が集まる心配でしたが、欠席連絡もありつつも、なんと61名の方にお集まり頂き、盛況に行う事が出来ました。

これから山梨県を通過する台風を考慮して、立射で四つ矢二回、計八射、お昼過ぎには大会終了の予定で行なった為、参加して頂いた皆様には、道場の中での待機や、あわただしい感のあった行射かとも思いましたが、クリーム等もなく、ご協力頂いて本当に感謝しております。若い方々のグループでは、激しい雨の中でキャンプのようにテントを張って待機されていて、不平不満もなく現状を楽しんで頂いている姿勢に心からありがたく思いました。行射については、やはり、中る人は中る、とでも言いたいでしょうか、天候などに関係なく、気持ちの良い射をみせて頂きました。団体競射なども、主催者ではありますが、私個人的にも見ていて楽しませていただきました。

今年度、支部長になって初めての大会開催でしたが、支部員様方の協力もあり無事に終了する事ができました。参加者の皆様、中央市支部員の皆様、そして矢渡し指導をしていただいた先生、本当にありがとうございました。

交流射会 (結果報告書)

日時：平成26年9月21日

場所：小瀬武道館弓道場

競技時間

開始 9時 30分～終了 12時 00分

射数 4矢2回 計8射

参加申込人数 77名 参加者 77名

高校生

順位	氏名	高校名	学年	射中	競射結果
優勝	三浦健太	富士北陵	2年	7	〇〇×〇
2位	荒井智博	富士北陵	2年	7	〇〇××
3位	野田優果	巨摩	2年	7	×
4位	小池美波	富士北陵	1年	6	
5位	大柴海斗	山梨	2年	6	
6位	竹川春輝	市川	2年	6	
7位	初鹿玲菜	巨摩	2年	5	
8位	渡邊健太	富士北陵	2年	5	
9位	岩下絢郁	桂	2年	5	
10位	梶本阿斗	巨摩	2年	5	

4位～10位は遠近競射

参加申込人数 29名 参加者 27名

社会人

順位	氏名	支部名	段位	射中	競射結果
優勝	佐野辰巳	南部	教士七段	7	
2位	青島 勉	中央	四段	6	
3位	中澤国弘	甲府	五段	6	
4位	内藤幸雄	甲府	錬士五段	6	
5位	古屋清記	山梨	錬士五段	5	

いさき山梨ねんりんピック弓道大会 (結果報告書)

日時：平成26年9月27日

場所：小瀬武道館弓道場

競技時間

開始 10時 00分～終了 12時00分

射数 4矢3回 計12射

参加申込人数 35名 参加者 32名

順位	氏名	支部名	段位	射中	競射
優勝	西堀 泰弘	甲府	教士六段	11	
2位	高部 保延	都留	錬士五段	8	
3位	内藤 幸雄	甲府	錬士六段	7	

※ 最高齢者賞 斎藤 美隆86歳 笛吹支部

ねんりんピック栃木2014に参加して

台風襲来を心配して臨んだ、ねんりんピック全国大会は晴れわたった開会式で、弓道山梨県チーム監督 佐野辰巳選手は山梨県チームの旗手を務め、県の代表として威風堂々と入場行進を行いました。

朝から雨模様の本大会はよく設備された栃木県体育館の仮設射場で5日1日目が始まり、山梨チームは51番で26立目に試合に臨みました。

斎藤美隆選手の皆中で20射11中で1回戦を終え明日の健闘を期して、交歓試合も無事終わり宿舎に戻り明日のために英気を養いました。

試合2日目6日は台風真ただ中で宿舎出発のバス運行もままならぬ状態で会場にやっと到着し、会場前広場の接待・売店特設テントは全部撤去され、さびしい試合会場入りとなりました。

予選通過に余りの意気込みの為惨敗の成績で涙のみ、予選通過したチーム試合の見学となりました。

優勝は地元栃木県Dチームでした、チームの年齢は5選手の中六〇歳代が4名という構成は優勝を意識した選手構成で地元優勝を目指すと言う目的があると思いますが、多少の違和感が拭えません。

終わりに、今回の為に山弓連及びねんりん弓友会からお祝いを頂き有難くお礼申し上げます。

(新藤康平)

いさき山梨ねんりんピック弓道大会

平成26年9月27日(土) 小瀬武道館弓道場

いさか参加者の少ない、いさき山梨ねんりんピックに開会式で天野会長は仲間を増やしていくことが長寿の秘訣とおっしゃられ、一人が一人+一人+一人で三倍になります、ぜひ大勢の参加をと希望され、大会は元気はつらつとした重厚な大会が行われました。

西堀泰弘教士六段は極めて好成績で12射11中で最後のいっぽんを外し会場一杯にアッ!!!という声が揚がり優勝が決定しました。

古屋副会長は閉会式で筋力をつけることが病氣などの回復が早いと、弓を続けることも長寿の秘訣ですと講評されました。

最高齢者賞は斎藤美隆さん(笛吹支部)86歳に贈られました。益々元気に頑張って頂きたいと思います。